

科目名	患者参加論		D1-204	担当教員名	飛田 伊都子、河口 豊
単位数	1単位		必修	配当年次	1年次・第1 Semester (後半)
曜日・時限	土曜日・2限目		教室	視聴覚大講義室	
授業概要	<p>本講義は、次の3点に焦点をあてて講義する。「患者が医療に参加する意味」、「患者が医療に参加する際に患者に求められる行動」、「患者が医療に参加する際の医療者の支援体制」。これらを検討するために、様々な領域の講師陣による講義を行い、その内容について議論を交わす。(オムニバス方式/全8回)</p>				
到達目標	<p>1) 患者参加型医療の意義について理解できる。 2) 患者による医療への自律的参加行動と医療者による参加支援行動について理解できる。 3) 学生自身がおかれた立場で出来る支援について考えることができる。</p>				
回	日程	見出し	内 容		実践的な 授業方法
1	6/12	患者参加の意義と概念構成(飛田)	医療における患者参加の意義とその歴史の変遷を紹介し、患者参加という概念の構成について講義する。		
2	6/19	診療ガイドライン作成における患者参加(飛田)	診療ガイドライン作成プロセスに患者が参加することの意義と実践例について講義し、その内容について議論を交わす。(特別講師:中山健夫) [ディスカッション]		○
3	6/26	医療安全と患者参加(飛田)	医療安全と患者参加の関係について講義し、自身の立場で出来る医療への参加について議論する。[ディスカッション]		○
4	7/3	医療施設管理から考える患者・家族の参加(河口)	患者とその家族が医療に参加するために必要な医療施設設備を含む環境管理の重要性について講義し、その内容について議論する。 [ディスカッション]		○
5	7/10	医療安全と患者参加(飛田)	医療安全と患者参加の関係について講義し、自身の立場で出来る医療への参加について議論する。[ディスカッション]		○
6	7/17	精神科領域における患者参加型医療の実践(飛田)	精神科医療において患者参加型医療を実践している事例を紹介し、その内容について議論する。(特別講師:川野豊) [ディスカッション][実務家による授業]		○
7	7/24	患者参加型医療の具現化とは(2)(飛田)	患者参加型医療を実践する「病院」を仮想し、理念ならびに具体的方策を立案する。[グループディスカッション]		○
8	7/31	患者参加型医療の具現化とは(3)(飛田)	患者参加型医療を実践する「病院」について発表し、総合討論する。 [グループディスカッション][プレゼンテーション]		○
キーワード		患者参加、住民参加、診療ガイドライン、施設管理	履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	講義の中で適宜紹介する。			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①授業への参加状況(30%)、②レポート(70%) [①授業への積極性、②講義内容を十分理解し、患者参加の必要性を理解できているかを評価します。]			
授業時間外に必要な学修		医療の質的向上および安全の担保のために、患者の参加がなぜ必要なのかについて、自身の意見を整理しておくこと。			
学生へのメッセージ		医療における患者参加の意味とその具現化について一緒に考えましょう。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。